

おしどりミニだより



OMI CHIROBAKAI

社会福祉法人近江ちいろば会
デイケアの家おしどり

2023年5月

新緑の美しい季節になりました。木々が可愛い若葉の芽を出しています。様々な色の花を咲かせている木も送迎時の皆様の癒しとなっています。自然の豊かな中で心地よい日々を皆様とともに過ごしたいと思います。

先日、「総合事業：ふれあいの家」のみなさんとポッチャ交流試合を行いました。

試合は緊迫した投げ合いとなり、お互いのチーム同士熱のこもった応援となりました。結果は残念ながら負けたものの「総合事業の方と一緒にできてよかった」という声がみなさんから聞かれました。いつもと違うメンバーとの対戦や帰属意識の高まりによるチームワーク向上といった効果が交流戦には期待できましたが、その他にも2つの大きな開催意義があったように思います。利用者さんの感想を元に考えてみたいと思います。

① 「ええ勝負やった。いい経験になりました。

でもくやしい！またよろしくお願いします」今回は負けたけど次は勝ちたい。次回の開催まで楽しみにして待つ、日頃のポッチャに今までより意欲的に取り組むなど、目標や目的・期待感を持った生活につ

ながると思います。

② 「相手のみなさんシャキっとされていてあんなりたいと思った。」

相手も同じような年齢なのに・・・自分も負けていられない・・・！といった競技外での競争意識が生まれ、良い刺激がもたらされたと思います。

他事業所との交流を終えて「楽しかった」の先には、次回を見据えてのより質の高い生活・活動と、「まだまだ自分もできるのでは？」といった生活意欲の高揚がありました。今後も様々な事業所と交流を持ち、みなさんが生活意欲を高められる機会、自信を取り戻すきっかけにして行きたいです。



先日こんなご質問をいただきました。

「**デイケアの家おしどりのデイケア**」って？

デイケアという名前がついていることから、リハビリを中心にしたデイサービスのようなイメージがありますが、おしどりの創設者のデイケアとは「**心のケア**♪・**日々のケア**♪」という想いで立ち上げました。お一人おひとりの心に寄り添うケアを大切にしています

法人の理念「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」、おしどりの「ひとり一人を大切に」のテーマに沿いながら皆様が自分らしく生活していただける支援をさせていただいています。

ヨモギ摘みと お餅つき



ウォーキング中で見つけたヨモギを摘んできました。かがんだり、少し届きにくい場所に足をかけて・・・車いすからも腕を伸ばして、いつも使わない筋力を駆使し沢山のヨモギが採れました。採れたヨモギを早速皆さんで手分けをして掃除をして、お餅つきを楽しみました。



昼食時に使うランチョンマットは毎回洗濯しアイロンを当ててくださる方、その後きれいにたたんでくださる方、各々が出来ることを率先して力を出してくださり気持ち良く使わせていただいています。



午前中は、ウォーキングをする方、縫い物をする方、制作をする方、小グループで体を動かす方と、自分自身がやりたいことに参加していただき充実した時間を過ごしていただいています。